

かわた市長の 徒然やわた帖

皆さん、こんにちは。昨年11月に市長に就任させていただきました、川田翔子です。これからは、このコラム欄も前市長から受け継ぎましてリニューアルし、皆さんへ色々な日々の短信をお伝えしてまいります。

さて、題名にも引用しました「徒然草」第52段には、石清水八幡宮に詣でた仁和寺の法師の話がでてきます。ひとり八幡を訪れ、ふもとの高良神社や極楽寺を参拝して、肝心の本殿が男山山頂にあることを知らずに帰ってしまったことから、少しのことにも「先達(先導者)」は必要であると結ば

れています。しかし、その法師も男山に登っていく人が多いことを疑問に思ったときに、道行く人に声をかけて尋ねていけば、「先達」を得ることができたのかもしれない。

私もまだまだ経験不足なこと、八幡で知らないことばかりです。恥ずかしながら、怖がらずに頭を下げ、「教えてください」とお声をかけて、色々な方に教えを乞うて歩き続け、山道を登っていきたいと思います。思い浮かぶ背中は沢山あります。どうぞよろしくお願いたします。



住所	内里東山川1-1
階数	地上2階建て
高さ	15.445m
建築面積	501.12㎡
延床面積	903.00㎡
構造形式	R C造

新名神高速道路の全線開通を見据え、交通事故等の緊急事案などに備えるとともに、市内の消防・救急体制の強化を図るため、令和4年9月22日から着工していた消防署東部分署(以下、分署)整備工事が令和5年12月28日に完了。2月9日(金)から開署し、分署長を含む15人が業務にあたります。

八幡市消防署 東部分署が完成

分署の概要

1階は、消防関係車両を駐車する格納庫を設置。2階はすべて執務エリアとしており、事務室や会議室、訓練室ほか、女性隊員に考慮し、専用の仮眠室などを設置。また、敷地内には、隊員が救助訓練を行う

訓練塔も併設しています。

分署の特徴

安全・安心を軸に機動性と機能性を兼ね備え、来庁者エリアを南西側へ集約し、来庁者動線と緊急出動動線を明確に区分。周辺環境に配慮



2階を覆う金属製のすだれ
隊員が救助訓練を行う訓練塔



し、敷地・道路境界から離し、建物規模を極力小さくする一方、分署として堂々としたデザインを採用。

環境とユニバーサルデザインに配慮

2階の執務エリアの外観を覆う金属製のすだれは日差しを和らげ、快適な室内環境を実現。また、バリアフリートイレやエレベーターを設置し、窓口はローカウンターとしています。



バリアフリートイレ

災害に強い安心・安全な分署
停電時の電力確保のため

め、屋上に太陽光パネルや非常用発電設備を設置し、災害対応に備えています。

消防署組織の一部改正

消防署の体制強化を図るため、2月9日から消防署組織の一部を改正します。

主な改正点

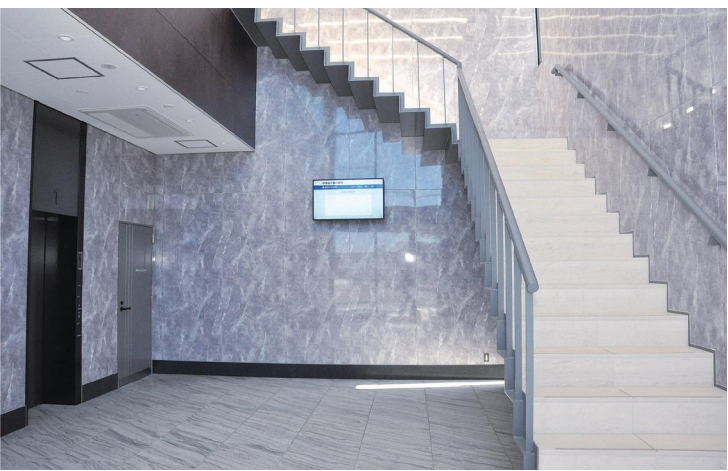
- 消防署内に「消防分署」を新設。
- 警備一課と警備二課の名称を、警防一課と警防二課に変更。

改正前

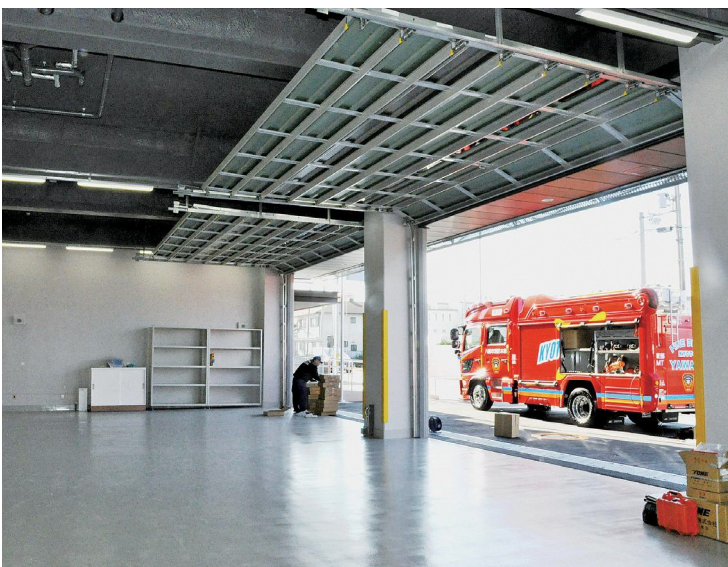
消防署
警備一課
警備二課

改正後

消防署
警防一課
警防二課
消防分署



1階のエントランスホール



消防関係車両を駐車する格納庫



停電時の電力確保のため太陽光パネルを設置

火災・救急統計

消防本部 ☎981-4119

令和5年1月~12月累計()内12月分		去年同期累計
火災出動	16件 (1)	22件
火災以外の出動	391件 (37)	395件
救急出動	4,463件 (409)	4,296件
搬送人員	4,032人 (368)	3,827人

消防総務課 (☎981-0223)、東部分署(代表番号) (☎925-9939 (2月9日から利用可))